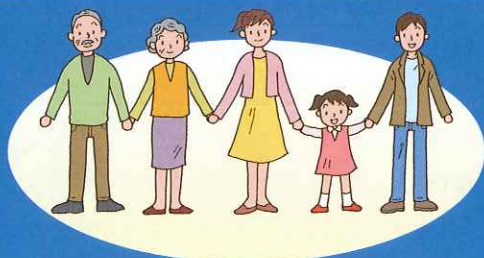


第29号

公益社団法人 秋田被害者支援センターだより



発行日 平成30年3月20日
発行者 公益社団法人秋田被害者支援センター
理事長 内藤 徹
住 所 〒010-0922
秋田市旭北栄町1番5号
秋田県社会福祉会館本館4階
TEL 018-893-5935 FAX 018-893-5938
URL <http://www.av.s.or.jp>



あいさつ

秋田県生活環境部

部長 田 中 昌 子

皆様には、日頃から、犯罪被害者の方々に対する支援活動に御尽力いただくとともに、県政全般にわたり御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

県では、第3次犯罪被害者等支援基本計画に基づき、被害者の方々ที่平稳な生活を取り戻すことができるよう、各種施策を推進しており、6月30日の「犯罪被害者を考える日」の街頭キャンペーンや「犯罪被害者週間・県民のつどい」の開催など、犯罪被害者等に対する県民の理解を深めるための取組を行っております。

また、昨年10月2日には、「あきた性暴力被害者サポートセンター」（愛称：ほっとハートあきた）を開設し、性暴力被害者に対し、相談はもとより、医療や心のケア、法的支援など、様々な支援を行っており、これまで秋田被害者支援センターの格別なる御協力により、順調に運営されております。

県としましては、被害者の方々が、いつでも適切な支援を継続して受けられる制度や環境を整備することが重要であると考えており、被害者の方々が安心して利用できるよう、今後も更なる支援態勢の強化と周知に力を入れてまいります。

また、被害者や御家族に寄り添い、支える社会を構築するため、秋田被害者支援センターはもとより、国や市町村、警察など関係機関・団体と連携して各種施策の充実を図ってまいりますので、引き続きお力添えくださいますよう、お願いいたします。

結びに、皆様の取組により犯罪被害を受けられた方々への適切な配慮や支援に対する県民の理解が一層深まりますとともに、秋田被害者支援センターの益々の御発展と会員の皆様の御健勝を心より祈念申し上げます。

一人で悩まないで、まずはお電話をおかけください。

【相談電話】

 **0120-62-8010**  **018-893-5937**

相談無料
秘密厳守

月曜日～金曜日 午前10:00～午後4:00
(祝日・年末年始を除く)

秋田県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体 公益社団法人 秋田被害者支援センター

今

堀江 まさ子

平成9年10月30日、朝。当時、高校三年生だった私どもの3人目の一人娘麻衣子は、自転車で「行ってきまーす。」の声を最後に、信号機のない横断歩道で交通事故にあいました。意識が戻らないまま57日間頑張りましたが、12月25日未明に力尽き、わずか18歳で静かに逝ってしまいました。

担任の佐和子先生が大好きで、「英語の勉強がしたい。」と色々相談していたようで、11月には面接を控えていました。

どんなに苦しかったか、どんなに生きたかったか、娘を想うと不憫でたまらなくなります。これからも勉強をして、色々な経験もして、苦難もあるでしょうが、明るい未来があったはずです。どうして娘がこんな目にと、毎日毎日同じことを考え、朝の目覚めと同時に襲ってくる悲しみと、胸が張り裂けるほどの苦しみと喪失感に何度も死を考えました。これからどうして生きていけばいいのかわかりませんでした。もう一度娘と会いたい。しっかり抱きしめて離さない。でも無理でした。笑顔のかわいい娘の「母さんあのね」の声がかえらない「麻衣子」と呼ぶ事もできなくなりました。

けれども、多くの人達と、息子たちに支えられ、夫とともに今日まで生きてきました。

娘の死から半年後、とても厳格だった夫の父が病に倒れ、娘のそばに逝きました。読書が趣味の義父と娘は、よく2人で書店に行っていました。

あれから16年余り。長男も次男も家庭を持ち、同居している長男の2人の孫娘たちも中学3年生と小学4年生になりました。義母も健在です。

友人や知人に「元気そうだね。」「大丈夫?」と声をかけていただくこともあります。娘を失って、決して「大丈夫」ではないのです。「もうすっかり元気」でもないのです。皆さんの気遣いと優しさだと十分理解していますが、毎日、かわいい孫たちの話を聞き、笑い、温かいご飯をいただき、たまには外出をしたり。そんな色々な場面で娘を想い、何もしてやれなかった、助けてもやれなかったと、本当に申し訳なく思い、生きていることさえ心苦しいのです。その想いと涙を胸の奥底に閉じ込めて生きていくしかないのです。

今でも事故のあったところは通れません。私まで娘をはねてしまう事になります。中学3年生の孫娘の冬の送迎も遠回りをしています。

これから先、私達家族だけは、人の命を奪うような運転はできません。人の命を償うことなど不可能なのです。私たち遺族は何もありません。大切な家族を、娘を返して欲しいだけなのです。

運転する時は、すぐ止まれるように細心の注意を払って安全に。

それを肝に銘じて生きていかなければと感じております。

犯罪被害者支援功労者表彰「栄誉賞」受賞

受賞のことば

思いがけない受賞に驚きと、感謝の気持ちでいっぱいです。振り返ってみると平成14年「広報あきた」に掲載された公募をきっかけに養成講座を受講し、2期生と認定されて諸先輩や仲間と被害者支援にかかわり、被害者の方に寄り添いながら経験を積み重ねる事が出来ました。胸に秘めている被害者の方々に対する想いの感度を高きながら、支援活動へとつながっていきたいと思います。賞の重さは、責務の重さと頭に刻み、これからも被害者の方々へ寄り添い、支援の輪を繋ぎながら歩みたいと思います。

(公社)秋田被害者支援センター 佐藤 薫子



インタビュー 応援しています

今号のインタビューは、日頃より、当センターへご協力いただき、秋田県内外で広く企業や道の駅、文化施設など、各種情報を「市民情報誌」として、無料で全戸配布し、活動の場を提供しておられ、社会貢献活動にも賛同されている(株)青いポスト21の代表取締役 石塚由紀子さんに伺いました。



株式会社 青いポスト21
代表取締役
石塚 由紀子さん

◎今日はご多忙のところ、大変ありがとうございます。

まず貴社の淵源などについて教えていただけますか。
～弊社は今年で32年になるポストイング会社です。創業当初は秋田市内約4～5万世帯へ無料配布する事から始めました。今では自社で発行・配布しているフリーペーパー「あおぽ」をはじめ各企業様からお預かりしたチラシや公的発行物を毎週金曜日一日で市内全戸配布するまでに成長しております。現在、秋田市内全戸(13万8千部)、潟上市天王の一部地域(5千部)を弊社スタッフ500人が朝から一斉に配布を行い、また県内の道の駅や一部のコンビニ店頭にも無料で設置しています。フリーペーパー「あおぽ」は人口約32万の秋田市においてNo.1の知名度と実績を持ち、秋田の「美・食・住」を網羅する情報量は、老若男女を問わず地域の皆様の生活情報源となっています。

◎10年前、社長に就任されました。心がけておられることをお聞かせください。

～長い間、専務として経営に携わってきましたので、社

長に就任しても職務上の不安はなかったです。しかし10年前といえば経済情勢が著しく落ち込んでいた時期でもあり、経営を続けていけるかどうか不安もありました。今こうして続けられるのは皆様のお蔭であり、お世話になった方々に少しでも恩返しできれば、という想いと地域貢献の大切さをお互い合わせて日々努力を続けているところです。そしていつまでも地域の皆様から愛され信頼される企業でありたいと願っています。

◎当センターに関心を持たれたのはどういう思いからですか?

～最初は存じ上げませんでしたが、説明をうけてとても重要な事だと思いました。誰もがいつ被害者になるのかわからない世の中です。被害にあわれて、苦しみ悩んでいる人々に真っ先にいたわりの手をさしのべ、思いやっけることはとても大事なことです。少しでもできる事を協力していこうという想いからです。

◎最後に、当センターへエールをお願いします。

～被害にあわれて、悩める人、迷っている人は沢山いらっしゃると思いますので、賛同して下さる方々を増やし、さらに頑張ってもらいたいと心から願っています。

温かなご賛助・ご寄付に厚く御礼申し上げます。

今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【一般寄付】

- (一社)秋田県損害保険代理業協会中央支部
- 秋田地区事業主交通安全推進協会
- 秋田中央地区安全運転管理者協会
- 天下一番
- 三盛石油(株)
- 三国商事(株)
- (有)ピースケップ
- (株)フジックス(ボートピア河辺)
- 北都銀行職員組合
- (株)ヤマサ興産(サテライト男鹿)
- (株)秋田ダイド
- (株)アベックス
- (株)伊藤園
- 大館ヤクルト販売(株)
- サントリービバレッジサービス(株)
- (株)サンペンディング東北
- (株)ジャパンビバレッジホールディングス
- (株)菅生商店

【ダイドードリンコ(株)】

- (株)マルカ金澤商店
- (株)ミチノク
- みちのくキャンティーン(株)
- みちのくココ・コーラボトリング(株)
- 横手ヤクルト販売(株)
- (株)リユーバ

【支援自動販売機設置協力会社】

- (株)英雄
- 中田建設(株)
- (有)門脇木材
- (株)中村設計
- 秋田場外勝馬投票券発売所
- (有)吉田電工
- (株)花屋 秋田フラワーセンター
- (株)秋田クボタ
- 佐藤建設(株)
- (株)角館建設工業(株)

- 工藤興業(株)
- (株)サトウ重機
- (株)ジェイエック 北秋田警察センター 虹のホール(ひまわり館)
- 秋田観光バス(株)秋田営業所
- 三衛クリーンサービス(株)
- コマツ建設(株)
- 秋田精錬(株)飯島精錬所
- ALSOK秋田(株)秋田支社
- (株)まるごと市場
- 北部自動車興業(株)
- (社)あけとおり会

【新規賛助会員】

- (有)ニュー島兼
- 男鹿桜島リゾート HOTELきららか
- (株)羽後環境
- (社)いずみ会
- (有)ステップミル

(敬称略・順不同)
(平成29年8月～30年2月まで)
※氏名の公表に同意頂いた方々のみ掲載させていただきました。賛助会員様は新規にご加入頂いた方だけの掲載です。

「県民のつどい」(主催・秋田県)を開催

犯罪被害者週間(11月25日～12月1日)にあわせて、秋田拠点センターアルヴェで「県民のつどい」を開催しました。当日は多くの方が会場を訪れ、被害者家族の講演や、中学生・高校生による作文の朗読や、ミニ・生命のメッセージ展・ご遺族の思いが綴られたパネル展示・サクソ四重奏のコンサートに耳を傾けました。

「犯罪がその後にもたらすもの」と題して山内久子氏(秋田看護福祉大教授、あおもり被害者支援センター理事)の講演がありました。



「命の大切さ学習教室」作文コンクール

県警が主催する「命の大切さ学習教室」で、犯罪被害によって子供さんを亡くされたご遺族による講演を聞き、家族の絆や命の大切さ、被害者支援に関する思いを綴った作文の中から、中学生・高校生の各部において最優秀賞を受賞されたお二人の作文を紹介します。

たった一つの命

小坂町立小坂中学校 2年

照井 和花



私の命は一つしかありません。それは、世界中の人々も同じです。このあたり前の事実が「命の大切さ学習教室」に参加し、あたり前ではないと気付かされました。そして、一人一人がもっと真剣に向き合って、一日一日を大切にしなければならぬと強く思いました。

「命の大切さ学習教室」で、涼香ちゃんのお母さんが、涼香ちゃんが事故で亡くなってしまふまでの事を丁寧に教えてくれました。涼香ちゃんが、小学校で作ったカレンダーには、「冬は楽しみがたくさんあります。また来年も楽しみが来るといいな。」と、一年生らしい言葉が書かれてありました。

そんな涼香ちゃんの楽しみが消えてしまった2000年11月28日。集団登校の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込み、二人が死亡し、六人が怪我をする事故が起きました。涼香ちゃんは、一緒に通学していた六年生と四年生の二人の兄の目の前で、一人、天国へと旅立ってしまいました。私も小学生の頃、団体登校をしていました。その時に事故が起きていたらと考えると、とても身近に思えて怖くなります。いつもと変わらない朝を過ごし、いつものように登校する途中で、非常識な飲酒運転という行為で、命を落としてしまふ。これからの未来に夢や希望あふれる何の罪もな

い女の子が命を奪われてしまうことがあって良いのでしょうか。本当に悲しく、胸がしめ付けられる思いです。

涼風のように心地よく、たくさんの人を幸せで包んで欲しいと名付けられた涼香ちゃん。その名の通り、優しい心を持った笑顔の似合う女の子でした。そのあふれる笑顔も一瞬で全て消えてしまう。それが事故の現実です。

「命」は、誰も平等にたった一つ。ゲームのようにリセット出来ません。「飲酒運転」は絶対に許されることではないのです。また同時に、生きたいと願いながら亡くなってしまった方々を思う時、自ら命を絶つことも決してあってはならないことだと強く思うのです。悲しいことに、毎日のように「いじめ」のニュースがテレビから流れ、消えることはありません。それが原因の自殺も数多く聞かれます。命を絶つ前に何か出来ることはないのでしょうか。一人一人が思いやりの心を持ち、ほんの少しの勇気で相手を考えてあげることが出来たら…何か変わってくるかもしれません。涼香ちゃんのように命を落としてしまった人、震災で亡くなってしまった人々。どうすることも出来ない、やりきれない気持ちでいっぱいですが、そんな時、改めて私は自分の命を大切にしていきたいと思うのです。また、自分の命と同じように、相手の命も大切にしていきたいです。

私は、「命」について様々な事を感じ、そして考えました。世界の全ての人々が、命の重みを分かち合っていけるようにと願いながら。

命の大切さを感じる

秋田県立秋田工業高等学校
工業化学科1年

佐藤 太一

最近、私は「命の大切さ」について実感しました。それは、次の二つの出来事からでした。

一つ目は、身近な人の命にかかわる出来事です。今年、私のいとこが自転車事故に遭いました。知らせを聞いたときは衝撃を受け、かなり動揺しました。「もし、このまま死んでしまったら…」「もし、後遺症でも残ったりしたら…」と、様々な不安が頭の中をよぎりました。完全に落ち着きを失い、心臓は今にも破裂しそうな勢いで鳴っていました。

私は、少し落ち着きを取り戻した後も、ずっといとこの無事を祈っていました。いとこは一ヶ月ほどで病院から退院することができ、現在は元気に生活しています。

二つ目は、犯罪被害者の方が中学生や高校生を対象に行う講話、「命の大切さ学習教室」への出席です。この講話で私は、交通事故で娘さんを亡くした方のお話を聞かせていただきました。実際に秋田市内で起こった事故の話をご遺族の方にさせていただくことで、とても緊迫した雰囲気が感じられました。

講話は、事故当日の朝はいつもと変わらない平凡な朝だった、というお話から始まりました。そしてその方は、突然事故の知らせを受けました。何が起こったのかわからず、生きている実感をなくし、放心状態に陥ってしまったそうです。このような、思い出だけで精神が崩れてしまうようなお話を、克明に語っていただきました。あまりにも写実的で、聞いている私も涙が出そうになるほどでした。

実はこの方の娘さんの死も、自転車事故によるものだったそうです。前述のいとこの話と関連し、自転車の危険性について深く考えさせられました。私の

通う高校でも毎年自転車事故が発生しており、入学してからも数件ほど耳にしました。私自身自転車通学なので、より身近な話だと感じました。

これらの出来事は、私の心に強く響きました。命の大切さについて、ただ言葉の意味を知っているのではなく、今の私はそれを「実感している」のです。

それでは、「命の大切さを実感する」とはどのようなことなのでしょう。それは「命の重みを理解する」とことだと私は考えます。その重みがどれほど大きなものか、どれほど尊いものか、自分や身近な人の命に置きかえて考えたり、実際に体験した人のお話を聞いたりして、一人一人が気づくことができればよいのではないのでしょうか。

「命は大切」ということは、誰もが幼少期から周りに言われて、わかっていることです。しかし、その本質を理解している人はそう多くはありません。今回私は、自分なりにその本質に近づくことができました。今後は、家族や友達とも「命の大切さ」について考えを共有して、更に考えを深めようと思います。今回はあくまでも自分の中で気づくことができた考えなので、他人の意見を聞くことで更に何か新しい考え方ができるかもしれません。

命の大切さを実感してから、日常生活の中で自分が変わったと感ずることがあります。それは、テレビを見るとき態度です。テレビでは毎日、事故や事件に関する報道がされています。そういったものを見たときに、被害者の命が無事かどうか気になったり、被害者家族の気持ちを考えたりするようになりました。以前はただ何となく見聞きしていたことでも、今では深く考えることができるのです。

命の大切さを実感すると、世界が違って見えます。自分の命、家族の命、友達の命を始め、全く知らない人の命についても、とても尊く感じるのです。これからの人生で、それらがあることに感謝し、生きていこうと考えています。

優秀賞を受賞されたのは次の方々です。

秋田市立土崎中学校3年 齊藤 向希さん 秋田県立秋田工業高等学校1年 相場 月見さん

県民のつどい風景



自助グループパネル展示



コンサート



ミニ・生命のメッセージ展

● 広報活動及び研修風景 ●

ミニ・生命のメッセージ展は、秋田ぽぽろーど、県立図書館、にかほ市（にかほっと）、秋田市役所など各地で開催されました。



にかほっと



特別研修



秋田市役所

FM 樁台 お知らせ

(公社)秋田被害者支援センターの活動をより多くの皆様に知ってもらいたい、その一心で『心のかけ橋』(第1木曜日 13:00～13:30)という番組を制作・放送しておりますが、残念なことに弊社の電波の出力が微弱なため可聴範囲が広くありません。そこで、『リスラジ』というアプリを下記の方法で取得していただければ幸いです。

どこでも聴ける インターネットラジオ「リッスン★TU・BA・KI」

ListenRadio — アプリの取得方法(例)

- ①App Storeで[Q検索]→「リスラジ」入力で、アプリがでてきます。→ダウンロードします。
 - ②アプリを「開く」→「chチャンネル」を選択します。③エフエム樁台を表示し、「☆お気に入り」を選択します。「★お気に入り」で完了です。④試聴する場合は「★お気に入り」を選択し、▶プレイでOK。2回目からは、を開いて、「★お気に入り」を選択し、▶プレイですぐ試聴できます。
- 電波の届かないところでも、世界のどこでも試聴できます。

無料
アプリ

秋田被害者支援センターの活動

交通事故や犯罪等の被害にあわれた方々の「支援組織」として設立された民間団体です。当センターは、支援活動員や弁護士、医師、臨床心理士等の専門家によって支えられています。

●電話相談●



相談無料・秘密厳守
安心してお話しください。

●面接相談●



主に犯罪被害相談員が対応します。
必要に応じて専門家によるカウンセリングや法律相談も。

●直接的支援●



希望に応じて警察や裁判所・病院などに付き添います。

●自助グループ●

「交通死亡事故被害者の会」



被害に遭われた方やご遺族の交流の場を提供し、活動を支援します。

(公社)秋田被害者支援センターの活動を支える賛助会員募集

私たちの活動は、皆様の賛助会費で支えられています。支援活動員は、ボランティアです。賛助会員の方には、「センターだより」を送付致しております。

(公社)秋田被害者支援センターの活動の趣旨にご賛同いただき、ご支援いただくものです。

◆個 人：1口 1,000円

◆法人又は団体：1口 5,000円

※1口以上、何口でもけっこうです。

(各口座共通) 公益社団法人秋田被害者支援センター

秋田銀行 本店 普通 No.476400

北都銀行 本店 普通 No.0953069

郵便振替口座 No.02220-6-80225